

外国語活動(英語活動)の実践

守谷市立松前台小学校

1 はじめに

本校の外国語活動(英語活動)は、守谷市の全体目標を目指し、小中一貫英語教育指導計画に基づいて行ってきた。これまでの取組を基にさらに、児童同士が外国語を活用して双方向のやりとりをする活動を意図的に取り入れ、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ってきた。

2 具体的な実践内容

(1) 特例校としての取組

〈低学年〉「ともだちをたくさんつくろう・生き物発見・わたしの学校どんなところ・私の町の発見・家族で一緒にお正月・自分発見」

- ・上記の学習内容において、生活科との関連を図った。小グループやペア活動を積極的に取り入れ、英語でのあいさつ等を行った。英語を使って友達やALTに関わっていく姿が見られた。

〈中学年〉「探究的な活動」

- ・ALTの出身国の話を聞いて外国に興味をもった児童が、自分で選んだ様々な国について言語や文化に関することを調べた。自分で調べたことを英語や日本語で友達に伝えるという活動に意欲をもって取り組んでいた。自分で調べた国をポスターにし「ショー&テル」を行い、様々な国の文化に興味をもつことができたようにした。

(2) 小中一貫教育の視点を意識した取組

〈高学年〉小中一貫教育の視点を意識した活動

- ・5・6年生に関しては、「Hi, friends.」を中心とした授業を行った。アルファベットの大きな文字や小さな文字を使った活動では、児童の実態に応じて楽しく読んだり書いたりする活動を行い、慣れ親しめるようにした。毎回簡単な英会話を友達やALTと行う機会を設けて、自然に英語を使ってコミュニケーションを図ることができるようにしてきた。児童がミニティーチャーとなって、グループで会話するなどを継続して行ってきたことにより、英語での双方向のやりとりに進んで取り組むことができた。

3 学校独自のアプローチ

(1) 朝の会とランチタイムにALTが参加し、英語の日常表現を紹介している。

(2) イングリッシュボードで月ごとに様々な国の食べ物や建物、言葉などを紹介している。

(3) ワールドルームを整備し、よりよい場で活動できるようにしている。

(4) 毎朝のあいさつ運動にALTも参加し、英語でのやりとりが日常的に行えるようにしている。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・低学年では主に人との関わりに関する内容で、英語を使って楽しく交流することで多くの友達と関わっていったり、ALTに積極的に声をかけたりする児童が多くなったことである。
- ・中学年では、自分で調べたことをポスターにまとめ分かる英語で発表することで、英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを知ることができた。
- ・高学年では、アルファベットに関する単元にも力を入れたことにより、大文字や小文字に慣れ親しむことができた。慣れ親しむ活動で双方向のやりとりを多く設定したので、自信をもって発話することが多くなった。

(2) 課題

- ・小中一貫英語教育指導計画をもとに、本校の教育計画をさらに見直すこと、フォニクス指導で中学校区の先生方と共通理解を図っていくことが必要だと感じた。